

認知症

皆さんにとって認知症は日常的に耳にすることが多い病気の一つだと思います。実際には日本において 2020 年時点で約 602 万人が認知症患者であると推計されています。65 歳以上の年齢だと約6人に1人（16.7%）が認知症患者になります。高齢化が進む昨今、誰でも将来的に認知症になる可能性があります。そのため認知症がどのようなものを理解して知識を深めることが大切です。



■認知症ってどんな病気？

認知症は脳の病気や障害などの様々な原因により認知機能が低下して日常生活全般に支障が出てくる状態を言います。

その中でも元も多いのがアルツハイマー型認知症です。脳神経が変性し、徐々に脳の一部が萎縮していく過程で起こります。物忘れで発症することが多く、ゆっくりと進行します。

アルツハイマー型認知症に次いで多いのが脳梗塞・脳出血など脳血管障害によって起こる血管性認知症や、レビー小体型認知症や前頭側頭型認知症といったものがあります。



■認知症のサイン・症状

認知症の症状は、もの忘れ（記憶障害）や時間・場所がわからなくなる（見当識障害）、理解力・判断力が低下するといった中核症状と、行動・心理症状（BPSD）に大別できます。職場で見られる問題については本人・周囲の人が感じることでして下のようなものが当てはまります。（表 1）

表 1

<本人が感じること>

- 今までやってきた仕事の手順が分からなくなり、時間がかかるようになった。
- 上司の指示を忘れる。
- 取引先の名前がわからない。
- 電話を受けてメモをしようとしても、すぐにメモが取れず、またメモを取ってもそのことを忘れる。
- ミスをして上司になぜこんなことをしたと言われても、なぜだか全くわからない。
- お客様との約束を忘れ、相手から連絡があった。



<周囲の人が感じること>

- 同じものを何度も注文し、在庫が多量になってしまった。
- 最近仕事でミスが多くなった。
- 仕事のスピードが落ちた。
- いつもの業務の手順なのに抜けている部分が多く、目が離せない。
- 仕事上の接客で、短い間に何度も同じことを聞いている。



■軽度認知障害（MCI）について

認知症のサインまではいかなくても、少しだけ加齢によるもの忘れが強いと感じたら、MCIの可能性も考えられます。MCIの特徴としては、下記の3つが挙げられます。

<軽度認知障害（MCI）のサイン・症状>

- 以前と比べてもの忘れなどの認知機能の低下がある
- 本人が自覚している、または家族等によって気づかれる
- 日常生活にはそれほど大きな支障はきたしていない



■若年性認知症について

一般的に認知症は加齢とともに発症のリスクが高まっていきませんが、65歳未満で発症した認知症を若年性認知症と言います。高齢者の認知症は女性の割合が多くなっていますが若年性認知症の場合は男性に多くみられます。アルツハイマー型認知症のほかに血管性認知症や前頭側頭型認知症、あるいは頭部外傷やアルコール性認知症など原因疾患が多様であることも特徴です。

また、高齢者と比較して発症から診断がつくまでにかかる時間は長く、場合によってはいくつかの医療機関を経てからようやく診断されたという例も少なくありません。

先に記載した通り、認知症は早期診断と早期治療が重要となっています。先述の認知症や軽度認知障害（MCI）のサインが自分や周囲に現れていれば医療機関への受診につなげるようにしましょう。



●早期発見のために

就労中に気づかれた方は、産業医に相談することができます。仕事に支障が出てくる場合もありますので、仕事の内容や雇用管理などの調整にも協力してもらえます。専門医療機関への紹介状を書いてもらうこともできます。

その他、かかりつけ医や専門の医療機関に相談し適切なサポートを受けられるようにしましょう。就労を続け、経済的な支援を受けるためには、早期受診・早期診断が重要です。アルツハイマー型認知症であれば、進行を遅らせる薬があり、本人の日常生活動作（ADL）や生活の質（QOL）を維持できます。早期であれば理解力や判断力が保たれているので、治療と仕事を両立することや、病気であることを受け入れ、今後の人生を設計する時間が与えられることとなります。早い時期に若年性認知症支援コーディネーターなどの専門職に出会うことも有効です。症状にあわせたサポートや社会参加を続けるためにも、早期受診・早期診断をお勧めします。



【参考文献】 ・厚生労働省 みんなのメンタルヘルス総合サイト (https://www.mhlw.go.jp/kokoro/know/disease_recog.html)
若年性認知症ハンドブック (<https://www.mhlw.go.jp/content/000521132.pdf>)